Ⅲ　システムの動作環境

１．ＴＫＣ電子納税かんたんキットの動作環境

(1) 動作可能パソコン・スペック

ＯＳ (注 1、2、3)	Windows 11 Enterprise /Pro /Home
ＣＰＵ(注 4)	２ＧＨｚ以上
メモリ	４ＧＢ以上
ディスプレイ（解像度） (注 5)	１０２４×７６８以上 Ｈｉｇｈ　Ｃｏｌｏｒ（１６ビット）以上
ハードディスクの空容量	１ＧＢ以上
DVD－ROMドライブ(注 6)	ＤＶＤ－ＲＯＭからシステムを登録・更新する場合は必要 (インターネット経由でプログラム自動更新する場合は不要)
ＵＳＢポート	ＩＣカードリーダライタ接続用
インターネット環境(注 7)	ブロードバンド環境（推奨）
ブラウザ(注 8)	Microsoft Edge Google Chrome

(注 1) macOS では利用できません。

(注 2) インターネット環境での利用となるため､Windows Update の｢重要な更新と Service Pack｣が０件となっていることを推奨します。

(注 3) 日本語版 Windows OS のみ対応しています。
英語版の Multi User Interface による日本語環境は対象外です。

(注 4) ARM プロセッサでは動作しません。

(注 5) 高解像度ディスプレイについては、以下をご参考に文字サイズを変更してください。
①解像度 3200×1800 の場合は、文字サイズ特大(200%)以下としてください。超特大(250%)では、画面が隠れる場合があります。
②解像度 2560×1440 の場合は、文字サイズ大(150%)以下としてください。超特大(250%)、特大(200%)では、画面が隠れる場合があります。

(注 6) インターネット経由でプログラム自動更新してシステムを登録・更新する場合、ＤＶＤ－ＲＯＭドライブは不要です。

(注 7)｢地方税 eLTAX 仕様｣により、プロキシサーバーの認証方式は、｢BASIC 認証｣｢Digest 認証｣｢Negotiate(NTLM)認証｣となります。

(注8) 推奨環境外のブラウザでもシステムのインストールは可能ですが、その場合の動作は保証できません。

(注9) 仮想化環境でのシステムの動作は保証いたしません。
また、仮想化環境に起因する問題は、サポート対象外とさせていただきます。

(2) ネットワーク

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合は、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定としてください。(貴社のネットワーク管理者等にご相談ください。)

①通信を許可する宛先とポート

宛　先	ＵＲＬ	ポート
国税電子申告･納税システム（e-Tax）	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
地方税ポータルシステム（eLTAX）	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
eLTAX 納付ポータルシステム	https://portal.payment.eltax.lta.go.jp	443
ＴＫＣシステムＱ＆Ａ	https://www.prft.tkc.co.jp	443
e-Gov 電子申告（国税のｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾊﾞﾝｷﾝｸﾞ）	https://shinsei.e-gov.go.jp	443
株式会社ＴＫＣ	https://etaxlicense.tkc.co.jp	443

※「540 通算親法人による法人税・地方法人税の一括ダイレクト納付」を利用する場合は、e-TaxHPの下記URLに記載の「認証」や「e-Taxソフト(WEB版)」の接続先の許可も必要となります。
(https://www.e-tax.nta.go.jp/toiawase/qa/yokuaru09/50.htm)

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のＵＲＬも許可してください。

宛　先	ＵＲＬ	ﾎﾟｰﾄ
リモート署名サーバー	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/	443
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com	443
第六世代管理ツール （可変文言データ取得、CP/CPS 参照用）	https://www.e-probatio.com	443

TLS クライアント認証の例外設定（※特にプロキシサーバを使用している環境下）について日本税理士会連合会 HP(https://www.nichizeiren.or.jp/taxaccount/auth/psa6th/#a)では､TLS クライアント認証を要求するＵＲＬとして以下の 接続先を許可するよう設定してください、と案内されています。

宛　先	ＵＲＬ
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com/

②通信を許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(ｲﾝｽﾄｰﾙﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥tkc¥ETPKIT
EtsAoMenu.exe	

③設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

1) ＵＴＭ(統合脅威管理)製品・機器
2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
3) プロキシサーバー
4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

（ご注意）

「ＴＫＣ電子納税かんたんキット」をパソコンに登録した際に、コントロールパネルーインターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のＵＲＬ、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のＵＲＬが登録されます。

(3) ソフトウェア

製　品　名	必須	ｲﾝｽﾄｰﾙ	備　考
.NET Framework 3.5 SP1 .NET Framework 3.5 SP1 Japanese Language Pack	○	○	
Microsoft SQL Server 2022 Express、または Microsoft SQL Server 2008 R2 Express、または Microsoft SQL Server 2005 Express Edition	○	○	
Adobe Acrobat Reader	△		システム利用マニュアル(PDF)の閲覧に必要です。

※「ｲﾝｽﾄｰﾙ」欄に「○」が付いているソフトウェアは、ＴＫＣ電子納税かんたんキットのインストール時にパソコンに登録されます。

Ⅳ　ＴＫＣ電子納税かんたんキット利用上のご注意

１．このソフトウェアを改変・結合・リバースエンジニアリング（逆アセンブル等）・解析等することを禁止します。

２．サンプルデータをご利用時に表示される「即時通知」「受信通知」「納付区分番号通知」等は共通のサンプルを表示しているため、実際にご入力いただいた内容（税額等）は反映されませんので、ご了承ください。

３．ＴＫＣ電子納税かんたんキットは、「給与所得・退職所得等の所得税徴収高計算書」の「支給額」「税額」等への０円未満の入力には対応していません。

そのため、ＦＸクラウドシリーズやＰＸシリーズと連携した「給与所得・退職所得等の所得税徴収高計算書」の電子納税において、ＦＸクラウドシリーズやＰＸシリーズで作成した納付書データの「支給額」「税額」等に０円未満の金額がある場合には、対応していません。

４．ＦＸクラウドシリーズやＰＸシリーズと連携した「個人住民税(特別徴収)」の電子納税において、連携した「指定番号」に半角カタカナ等の電子納税で利用できない文字が含まれていた場合、「指定番号」は空欄で納付データを作成します。なお、「指定番号」が空欄でも電子納税は可能です。

５．バックアップデータの復元には以下の制限があります。

(1) バックアップパソコンと復元パソコンが異なる場合、ご利用環境(Microsoft SQL Server のバージョンが異なる等)によっては、復元できない場合がございます。その場合は、バックアップパソコンと復元パソコンを、最新版のシステムに更新してからバックアップ、復元してください。

(2) バックアップデータを取得したシステム版数より古い版数のシステムへ復元した場合、正常に復元できない可能性があります。そのため、最新版のシステムに更新してから復元してください。